

CEOメッセージ



化学の力で産業の変革をけん引 先端技術・材料で社会課題を解決し、 持続的な成長曲線を描く

化学産業が生み出す未来

当社グループは、急速に変化する社会において、化学の力で未来を切り拓き、新たな価値を提供し続けてきました。自動運転技術やAIの発展をはじめ、産業や製品の仕組みが変わり、新たな価値やイノベーションが創出されるステージでは、化学製品が重要な役割を果たしています。化学産業が生み出す製品は、未来を形作るツールであり、産業の変革をけん引するエンジンともいえます。

この化学産業の中で当社グループは、基幹化学品の安定供給により産業と社会経済の基盤を支えながら、先進的な技術と豊富な経営資源を駆使して高機能製品の開発に挑戦し続けてきました。

特に、半導体・電子材料、モビリティ、メディカルケアの分野で、革新的な製品を次々に創出しており、これらの化学製品は現代社会において極めて重要な役割を担っています。

社会課題を解決する優れた製品をいち早く創り出し、化学事業を通じて新しい幸せを届け、豊かな未来を創り出していくことに当社グループの存在意義があり、それに挑戦し続ける企業でありたいと考えています。

経営体制の変革

2025年1月に新しい経営体制へ移行しました。持続可能な社会の実現に向けて、我が国の経済も大きく変わりつつあり、米国を起点に世界の動きが加速度的に変化する中、成長軌道を描いていくためには、的確な意思決定とスピーディな経営判断が必要です。そのため、このたびの社長交代を機に、Chief x Officer制度を導入し、私は代表取締役会長CEOとなり、代表取締役社長COOには小淵秀範が就任しました。

今後は最高経営責任者として、グループ全体を俯瞰し、新しい時代にふさわしい持続的な成長を先導していきます。新社長COOの小淵は、主に高付加価値製品の事業部門において豊富な経験を有するとともに、成長事業を生み出す目利き力が優れています。

両輪体制のもと、新しい時代を乗り越えるため新たな経営課題を設定し、当社グループの成長と革新をリードしていきます。

先端技術・材料で社会課題を解決

化学産業は、設備投資・研究開発から収益に至るまでに相応の期間を要するため、中長期的な視点に基づいた投資が必要です。当社グループの2025年中期経営計画では、将来の発展を見据え、成長分野を中心に積極的に設備投資を実施してきました。研究開発面では、首都圏に新たな研究開発施設「川崎フロンティエンスR&Dセンター」を開所しました。「顧客協創」の観点から、顧客のニーズを能動的に掴み、当社グループのさらなる先端技術・材料で課題を解決していきます。

今後は成長ドライバーをはじめ、投資成果を早く一つ一つ結実させ、好成長のスパイラルを創り出し、持続的な成長曲線を描いていきます。

ステークホルダーの皆様の期待に応え、信頼される企業であり続けるとともに、さらに魅力ある会社へと発展させるため、全力を尽くしてまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長CEO

高村 美己 志